

# 10/29(Sat.)

AM10:00 ~ PM3:00

## ● ピース・コンサート (無料)

朴保バンド (メッセージロック)

カテリーナ (ウクライナの歌姫)

寿Kotobuki (沖縄島唄)

打鼓音 (創作和太鼓)

特別ゲスト (福島から)



# NO! NUKE NO! WAR



ピース・フェスティバル in 大和・綾瀬

アジアに平和を、  
静かな空を！

2011

## ● 模擬店コーナー

沖縄物産、低農薬野菜、焼き鳥、おでん、焼きそばなどなど…!

模擬店募集中! 9月末締め切り※お申し込みはFAX: 042-756-5649まで

## ● アジアの平和と基地問題を考えるパネル各種

厚木基地の大型模型、写真で見る沖縄の米軍基地、他

### 大和駅東口広場に集まろう!



Wars and nuclear power accidents  
Both are the worst condition to humans.  
Both are the worst cause of environmental destruction.

会場 / 大和駅東側プロムナード

主催 / ピース・フェスティバル2011 in 大和・綾瀬実行委員会

連絡先 / TEL:046-200-5505(10~15時)

後援 / 大和市、綾瀬市、大和市・綾瀬市教育委員会、大和商工会議所





# Peace Festival in YAMATO・AYASE 2011

## ● 市民の皆さんへ ●

アジアに平和を！静かな空を！ 「平和」への願いを込めて始めたピースフェスティバルも今年で10回目となります。

厚木基地を飛び立つ軍用機、空母艦載機のまき散らす爆音に、私たちは何十年も苦しんできました。3次にわたる裁判で、司法が5回も違法爆音と判決を下したにもかかわらず、爆音被害は全く解消されていません。第4次訴訟では、7000人を越える原告が、損害賠償と軍用機の飛行差し止めを求めてたたかっています。厚木基地で訓練を重ねた戦闘機は、これまでも戦場で多くの命を奪い、憎しみの連鎖をつくり出してきました。私たちの願いは、爆音のない静かな空、戦争のない平和な世界です。

しかし、神奈川は今、基地強化の波にさらされています。

2008年9月、米海軍横須賀基地に原子力空母ジョージワシントンが配備されました。2007年12月、キャンプ座間に米陸軍第1軍団前方司令部が発足し、さらに2012年には陸上自衛隊中央即応集団司令部が移駐してきます。今年8月、相模総合補給廠には任務指揮訓練センターが開設されました。私たちの目の前の基地は強化の道を進んでいます。

3月11日、東日本の太平洋側地域を大地震と大津波が襲いました。福島第一原子力発電所では核燃料の溶融と水素爆発によって、レベル7という最大規模の放射能漏れ事故が発生し、日本はもちろん、世界中の人々を震撼とさせました。福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故は、原子力発電は決してクリーンで安全なエネルギーではないこと、核と人類は決して平和に共存できないことを如実にしました。

私たちは「平和」の声を大切にしたいと思います。軍事に頼らない平和、原子力に頼らないエネルギー、そして核も爆音もない、基地のない大和、綾瀬、神奈川をめざしたいと思います。アジアに平和を！静かな空を！ そう願いながら、フェスティバルを開催します。市民の皆さん。是非、ご来場ください。

## 2011年 ピース・コンサート出演者

### ● 朴保 BAND (メッセージ・ロック)

1979年デビュー。「朴保&切狂言」をへて、1983年単身渡米。サンフランシスコで自身のバンドを率いて活動し、ネヴァダ核実験場跡で『Hiroshima』を歌うなど西海岸の音楽シーンと平和運動に於いて注目を集める。1992年帰国後も様々なピースムーブメントに係わりながら、ドキュメンタリー映画『A』（監督森達也）エンディングテーマなどでも活躍。「もんじゅを止めよう！」など、一貫して反戦・反核の姿勢を貫き、先日行なわれた横浜の反原発パレードでもトラックの上で演奏している。

### ● 寿Kotobuki (沖縄島唄、他)

1985年、沖縄生まれのナゲシク・ヨシミツと広島育ちのナビカが結成。戦渦をくぐり抜け歌い継がれた琉球弧の島唄を現代に歌い継ぐ。解放直前のエストニア・サマー・ロック・フェスティバルに日本代表で参加。自由を求める人々で埋め尽くされた会場での感動が、その後の彼らの道を決める。人権・環境・平和等、市民活動への音楽によるエンパワーを継続しながら、ピース・ポートなどで中国、ベトナム、フィリピン、チリ、ヨルダンのパレスチナ難民キャンプなどを訪れ、コンサートを開催してきた。

### ● カテリーナ (歌、バンドゥーラ)

チェルノブイリ原発事故発生の1カ月前、事故現場からわずか3キロのプリピャチという町で生まれる。現在日本に暮らし一児の母。ウクライナの民族楽器バンドゥーラを奏でながら、古曲や民謡、流行歌を中心に、日本の歌も歌うウクライナの歌姫。

### ● 創作和太鼓集団・打鼓音

共生・共育をめざす星槎グループの星槎高等学校卒業生や高校生・小学生によるチーム。05年はオランダ公演を成功させ、09年にはオールジャパンOTAKOコンテストにおいて一般審査員賞1位、総合3位に入賞。

### ● 特別ゲスト／関 久雄 (元・よろずバンド)

横浜での有機無農薬八百屋の草分け。現在、福島県二本松に暮らす。3.11震災以降、反核・平和・環境・快医学等をテーマに出会った仲間たちと、神奈川ともつながりながら、放射能被災地への救援活動を展開。被災現地からのお話とオリジナルの歌をお届けします。